

ヒントは現場にある。

ソーシャルビジネスの先行事例を訪ね学ぶ

第6回

10/30 (水)  
ネパリ・バザー口

【横浜市栄区】  
【国際協力】

ネパリ・バザー口

学べる  
ポイント

商品・サービスの品質向上・維持

代表の土屋さんが、ネパールで医療ボランティアをされた医師やネパール女性と出会い、1991年にネパールの子どもの教育支援を開始。翌年ネパリ・バザー口を設立。ネパールのハンディクラフトや食品を企画開発し、継続して輸入、ネパールの人々の自立支援をしている。東日本大震災後は東北の就業支援として陸前高田に椿油の製油所を建設。視察会では、プロとしての商品・サービスの品質向上・維持を学びます。



【日時】 2013年10月30日(水) 18時半～20時半

【場所】 フェアトレードショップ「ベルダ」(横浜市栄区・JR本郷台駅徒歩1分)  
<http://nbazaro.org/verdashop/shop.htm>

※ショップ見学後、同建物内の地球市民かながわプラザ創作スタジオにて  
事業説明を聞きます

【講師】 有限会社ネパリ・バザー口代表取締役 土屋春代氏

【コーディネーター】 齋藤保(株式会社イータウン代表取締役)

【参加費】 無料(飲食代等500円)

【定員】 25名(先着順・申込締切10/22(火))



【REPORT】

ネパリ・バザー口

ネパールの雑貨・服をフェアトレード輸入販売する「ネパリ・バザー口」は有限会社でありながら、多くの社会貢献活動をおこなっている。昨年は年商1億8千万円。全国に約500社の卸し先を持ち、一般書店にも並ぶ季刊の通販雑誌も発行している。ソーシャルビジネスを実践する国際貢献企業の先駆として、代表の土屋春代さんに20年の歩みを聞いた。ネパール女性との出会いが決めた運命

土屋さんは、中学生の頃に「ネパールの赤ひげ」と

と呼ばれた岩村昇医師の講演を聞く機会があり、「同じ時代に、同じ地球で生まれても、こんなにも生活が違うものなんだ」と深く心に残ったという。この原体験と、成人後に国際貢献活動がしたいと漠然と思っていた時に、日本人男性と結婚したネパール人女性と出会ったことで、自分とネパールの関連に運命的なものを感じた。「彼女からネパール女性の話や、学校に行けない子どもがたくさんいることを聞いて、…続きはWEBで!

お申し込み  
お問い合わせ

お申し込みはお電話かWEBで! TEL:050-3346-9806 <http://www.e-etown.com/sb/>

横浜ソーシャルビジネス応援事務局 TEL:050-3346-9806 FAX:045-832-3864 [sb@e-etown.com](mailto:sb@e-etown.com)

※本事業は、株式会社イータウンが、横浜市経済局より委託され実施しております。